

1 改訂の要点

顧客のニーズに応じて商品の流通やサービスの質の向上を図ることを通して、人間の生活を豊かにする流通業やサービス業の意義を踏まえ、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人を育成する視点から、〔指導項目〕として「流通・サービスの概要」を設けるなど学習内容等の改善・充実を図った。

2 目標

流通・サービスの見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、流通業やサービス業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

(1) 流通やサービスに関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(育成を目指す資質、能力)
(知識及び技術)

(2) 流通業やサービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

(学びに向かう力、人間性等)

流通・サービスの見方・考え方は、「流通業やサービス業に関する事象を、企業の社会的責任に着目して捉え、適切な商品の流通やサービスの提供などと関連付けること」を意味している。

目標の(1)については、人間の生活を豊かにする流通業やサービス業の意義と役割などを理解するとともに、流通業やサービス業に関連する基本的な技術を身に付けることを意味している。

目標の(2)については、流通業における商品管理、販売及び事務並びにサービス業としての清掃に関わる諸課題を発見し、流通業やサービス業に従事する者として求められる、職業人としての倫理観を踏まえて課題を解決する力を養うことを意味している。

目標の(3)については、流通業やサービス業を通して、社会に貢献する意識などを育み、卒業後企業等で就労し、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与するよう社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことを意味している。

3 内容とその取扱い

(1) 内容の構成及び取扱い

目標に示す資質・能力を身に付けることができるよう、(1)流通業やサービス業の概要、(2)商品管理、(3)販売、(4)清掃、(5)事務の五つの指導項目で内容を構成している。

(内容を取り扱う際の配慮事項)

〔指導項目〕の(2)から(5)までについては、生徒や地域の実態、学科の特色等に応じて指導項目を選択し、生徒が適切に履修できるようにすることが必要である。

学習指導要領第1章第2節第2款の3の(4)のアの規定に基づき、〔指導項目〕で示していない事項についても、流通・サービス科に関する適切な事項があれば取り上げて指導することができる。その〔指導項目〕の選択に当たり考慮すべきこととしては、次の点が挙げられる。

(ア) 地域社会の環境条件や立地条件に即した流通業やサービス業で学校の実態（施設・設備、備品など）に沿うものであること。

(イ) 生徒の興味・関心や進路などを考慮したものであること。

(ウ) 実習場所に関して長期的な見通しがもてるものであること。

(エ) 一般社会で通用する商品の取扱いやサービス業務が行えるものであること。

(オ) 生徒に合わせて作業工程の工夫がしやすいものであること。

実験・実習を行うに当たっては、関連する法規等に従い、実習室の施設・設備の定期点検と整備を実施し、安全管理や衛生管理を徹底することが必要である。

(2) 内容（解説での構成例）

〔指導項目〕

(1) 流通業やサービス業の概要

ア 流通業やサービス業の意義と役割

イ 流通業やサービス業の基礎

ウ 事務機器，機械や道具，コンピュータ等の情報機器の取扱い

ここでは，教科の目標を踏まえ，流通業やサービス業が日常生活に深く関わっていることについての知識などを基盤として，流通業やサービス業の意義について自らの考えをもつとともに，組織の一員として商品の流通やサービスの提供などに取り組もうとする意識と意欲を高めることができるようにすることをねらいとする。

このねらいを実現するため，次の①から③までの事項を身に付けることができるよう，〔指導項目〕を指導する。

- ① 流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに，事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けること。（**知識及び技術**）
- ② 商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から，顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのために必要な課題を発見し，よりよい商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え，表現すること。（**思考力，判断力，表現力等**）
- ③ 流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぶこと。（**学びに向かう力，人間性等**）

ア 流通業やサービス業の意義と役割

ここでは，流通業やサービス業が人間の生活と深く関わっていることや，産業社会の中で流通業やサービス業が重要な役割を果たしていること，多様な商品が流通し，多様な商品やサービスが販売，提供されていること，販売，提供される商品やサービスが人間の生活にとって必要不可欠なものであることなどについて扱うこと。

イ 流通業やサービス業の基礎

ここでは，流通やサービスに係る職業に関することや，身近にある地域の流通業やサービス業の動向などについて扱うこと。その際，商品の生産から商品が顧客に渡るまでの流れ，顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの質の向上を図ることの重要性を踏まえ，マーケティングに関する基礎的・基本的な手順と方法に関することなどについても扱うこと。

ウ 事務機器，機械や道具，コンピュータ等の情報機器の取扱い

ここでは，流通業やサービス業で用いられる各種の事務機器，機械や道具，コンピュータ等の情報機器の名称，用途，操作手順，保管・管理等について扱うこと。また，流通業やサービス業における情報通信ネットワークの活用についても扱うこと。

解説では以降，(2)商品管理，(3)販売，(4)清掃，(5)事務の五つの指導項目で内容を解説しているので参考にされたい。

(3) 指導計画の作成に当たっての配慮事項

解説では，流通・サービス科の指導計画の作成に当たり，生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を進めることとし，流通・サービス科の特質に応じて，効果的な学習が展開できるように配慮すべき内容が示されているので参考にされたい。